

Mizuho Bangkok Daily Market Report



Dated of 2022/03/31

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.35	-0.14
JPY/THB	0.2736	0.0012
USD/JPY	121.83	-1.05
EUR/THB	37.21	0.09
EUR/USD	1.1159	0.0073
USD/CNH	6.360	-0.016
SGD/THB	24.65	-0.04
AUD/THB	25.04	-0.10
USD/INR	75.91	-0.08
USD Index	97.79	-0.61

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,933.5	21.3
WTI (Oil)	107.82	3.58
Copper	10,367.5	51.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,698.40	8.66
NIKKEI (JP)	28,027.25	-225.17
DOW (US)	35,228.81	-65.38
S&P500 (US)	4,602.45	-29.15
SHCOMP (CN)	3,266.60	62.66
DAX(GER)	14,606.05	-214.28

Bond

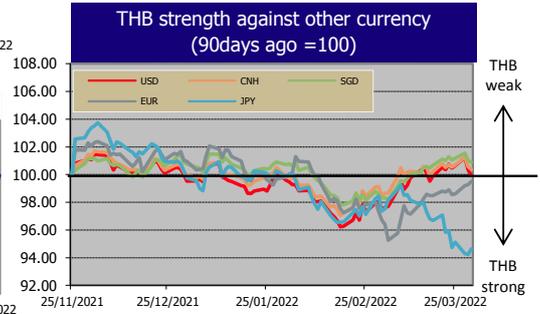
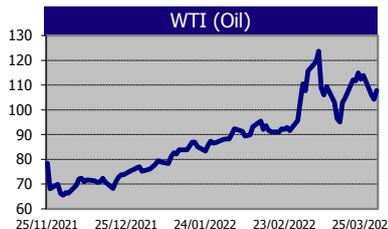
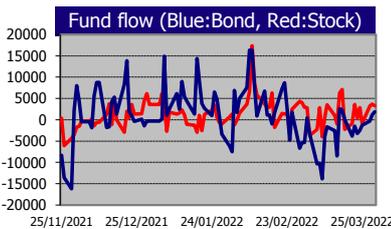
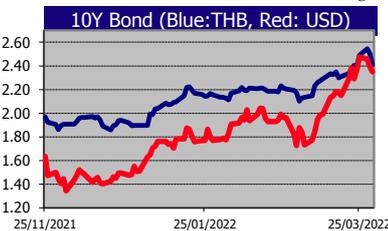
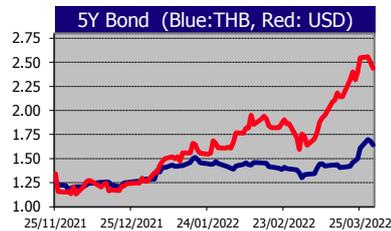
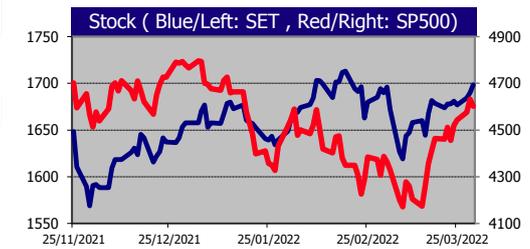
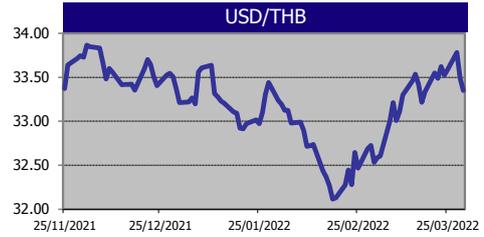
	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.643	-0.039
10Y (THB)	2.410	-0.095
5Y (USD)	2.438	-0.060
10Y (USD)	2.349	-0.046

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	3,302	-351.3
Bond net flow	1,887	778.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落。バンコク時間は33.55近辺でオープン。原油価格が下落し、米金利が大きく低下するとドル全面安の展開を辿り、ドルパーツについてもタイ中銀の金融政策委員会(MPC)を前に33.30近辺まで下落。注目のMPCでは事前予想通り政策金利が0.50%に据え置かれ、15会合連続での据え置きとなった。タイ中銀としては目先のインフレ率は上昇継続を予想するも、要因は原油価格上昇による一時的な上昇との見解を示し、来年度以降は低下するとの見直しを示した。ドルパーツはMPC後に動意にかける展開となり、結局33.35近辺でクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は123.10円近辺でオープン。中国でコロナ感染が拡大し、新たな都市でもロックダウンが発表されると、経済減速懸念から原油価格が急落。期待インフレが低下し、米債についても買い戻しが強まると、米金利は大きく低下。ドル円についても円安ポジションの調整が入り、ドル円は一時121.30円近辺まで急落。その後は押し目を拾う動きも見られ、121円台半ばでの下値の固さを確認すると、そこからはレンジ推移を辿り、結局121.85円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

昨日タイ中銀の金融政策決定会合において、事前予想通り政策金利0.50%の据え置きが決定されました。またGDP予測は下方修正(2022年予測12月発表3.4%→今回発表3.2%)、インフレ予測は上方修正(2022年予測12月発表1.7%→今回発表4.9%)されました。特にインフレ予測の修正幅が大きいですが、これは主にエネルギーと食料品価格上昇によるものであり、2023年には1.7%まで下がるとの予測が示されました。従って、インフレ抑制より景気回復に注力すべく金融緩和姿勢を維持する、との結論でした。急速にタカ派転向したFRBと異なり、タイ中銀は足元のインフレをあくまで一時的なものとする姿勢を維持したことになります。昨日のタイパーツ金利はウクライナ情勢における改善期待の影響もあり大きく低下しました。もっとも3月始めに発表された2月CPIが5.3%となつて以降、タイパーツ金利は大きく上昇しており、昨日はその一部を戻したに過ぎません。もう一段の金利低下余地があると考えます。(池澤)